

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県姫路市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界文化遺産姫路城公式ガイドツール整備活用事業		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本計画は、特別史跡姫路城跡整備基本構想（平成20年3月策定）、特別史跡姫路城跡整備基本計画（平成23年3月策定）、姫路城重要文化財建造物等保存活用計画（平成25年8月策定）を踏まえ、世界文化遺産姫路城の資産のみならず、バッファゾーンを含めたエリアについて、さらなる活用と情報発信を通して地域の活性化を推し進め、歴史文化都市「姫路」を広く内外にアピールしていく。このため、世界遺産を広く紹介し、公開・普及のための公式ガイドツールを整備する。整備にあたっては、平成27・28年度に実施した世界文化遺産姫路城公式ガイドツール整備調査研究事業をベースとしつつ、あらたな計画として進めていく。整備したガイドツールは、順次活用し、世界遺産の活性化に資するものとする。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画調整、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 教育委員会文化財課：各補助事業における世界文化遺産・文化財の取扱い等に関する指導・調整等 教育委員会城郭研究室：文化財の学術的な調査等に関する指導等 観光交流局観光振興課：文化観光業務に関する連携等 観光交流局姫路城総合管理室：姫路城の管理に関する連携等 補助事業は次の団体が実施する。姫路歴史文化遺産活用事業実行委員会（委員長 大樹 孝啓） 構成団体（姫路市文化財保護協会、播磨学研究所ほか）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 27,390 千円	平成29年度申請額： 23,667 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>世界遺産来訪者に対する提供情報の内容及び精度が向上することにより、遺産への理解度が向上することが期待できる。失われた城郭建造物を含めた世界遺産の全体像への理解・関心が進むことにより、新たな魅力の付加が進んでいく。これらにより、姫路城縦覧者数が200万人前後で安定するとともに、姫路城周辺での事業参加者数も増加し、平成28年度に策定を予定している「姫路市観光戦略プラン」で掲げる姫路城への外国人入城者数年間 40 万人以上等の達成に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	姫路城周辺で開催される市主催等のイベント等における公式ガイドツールによる活用事業		
事業概要：	姫路城で行われているガイド等による公式ガイドツールを用いたガイドツアーの開催		
事業概要：	外国人来訪者へのガイドツールによる文化観光の推進		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
姫路市歴史文化基本構想 平成24年3月策定済			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	姫路市教育委員会 生涯学習部 文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	姫路城縦覧者数			関連事業 :	①～⑧	
目標値 1 :	平成 27 年度 2,867 (単位) ⇒ 平成 33 年度 2,000 (単位)					
設定根拠 1 :	平成27年度は、大天守修理後の急増であることから、2,000千人程度での安定を想定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	外国人の割合			関連事業 :	①～⑧	
目標値 2 :	平成 27 年度 11 % ⇒ 平成 33 年度 %					
設定根拠 2 :	平成28年度までの毎年度平均伸び率0.3%に対し、2倍の0.6%を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	その他					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	新規史料等の確認数			関連事業 :	⑨、⑩	
目標値 3 :	平成 28 年度 0 (単位) ⇒ 平成 33 年度 50 (単位)					
設定根拠 3 :	年間10件の新規史料等確認を想定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

事業⑦：	モニターツアーの実施					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等						
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度						
事業概要：	世界遺産登録25周年にあわせ、公式ガイドツールによるモニターツアーを実施する。日本語での実施状況をフィードバックしつつ、外国語ツアーも実施する。												
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)							
具体的な指標：	モニターツアー参加者数												
目標値：	平成 28 年度					0 人		⇒		平成 33 年度		50 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率												
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度								
人	人	人	人	人	人								
事業⑧：	世界遺産教材の作成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等						
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度						
事業概要：	世界文化遺産をより深く理解できるような教材の開発・作成を行う												
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)							
具体的な指標：	教材の利用数												
目標値：	平成 28 年度					0 回		⇒		平成 33 年度		100 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率												
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度								
回	回	回	回	回	回								
事業⑨：	文献史料等の調査研究					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会						
事業区分：	調査研究					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度						
事業概要：	古文書等の文献史料について、未出のもの探索、リスト化、既史料の翻刻等を行う												
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)							
具体的な指標：	新規の確認史料数												
目標値：	平成 28 年度					0 点		⇒		平成 33 年度		50 点	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率												
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度								
点	点	点	点	点	点								

事業⑩：	保存活用における課題研究		実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等		
事業区分：	調査研究		事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	世界文化遺産の保存活用における課題の抽出、解決策等の検討を含めた総合的な研究を行う					
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	新たに抽出する課題数					
目標値：	平成 28 年度		0 (単位)		⇒ 平成 33 年度 50 (単位)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	